

## C-3

### 指示詞の有標的な用法—類型論の確立を目指して—

孟鷹 (名古屋大学; mengying.gsid@gmail.com) ・ 大島デヴィッド義和 (名古屋大学; davidyo@nagoya-u.jp)

#### 1. 指示詞の諸用法

- 通言語的に観察される指示詞の主要な用法として, (i) 外部指示用法, (ii) 照応用法, (iii) 認識用法 (記憶指示用法) の 3 つがあることが指摘されている (Diessel 1999 など)。
- (1) a. [建物を指して] I am going to **that building**. (外部指示用法)
- b. My neighbor has [a dog]<sub>i</sub>, and [**that dog**]<sub>i</sub> always barks at me. (照応用法)
- c. Do you remember **that exchange student from China who was very good at table tennis**? (認識用法)
- 一方, これらの典型的 (無標的) 用法とは区別される様々な**有標的用法**が存在することが (主に個別言語学的な文脈で) 議論されてきた。
- 本研究では, 外部指示・照応・認識の 3 分類に, [±非制限 (性)]・[±情意 (性)] を組み合わせた 3 次元のタクソノミーによって, 指示詞の無標的用法と, 有標的用法のうちの多くを整理分類することが可能になり, 通言語学的・類型論的な比較考察が容易になることを示す。
  - ・ 便宜的サンプルとして, 日本語・中国語・韓国語・英語における名詞修飾型の指示詞 (表 1 に挙げるもの) を取りあげる。

表 1: 日中韓英 4 言語における名詞修飾型指示詞

	近称	(中称)	遠称
日本語	この	その	あの
中国語	这 (zhè, zhèi (口語))	那 (nà, nài (口語))	
韓国語	이 (i)	그 (ku)	저 (ce)
英語	this/these		that/those

- ・ なお, 中国語の指示詞が名詞 (句) を修飾する際には, 「指示詞(+類別詞)+N(P)」 ((2) を参照) および 「N(P)<sub>1</sub>+指示詞(+類別詞)+N(P)<sub>2</sub>」 ((3) を参照) という 2 種の構造が用いられる。

(2) {这/那}            个人是谁啊?

DEM.P/DEM.D   CLF 人   COP 誰   DP

「{この/その/あの} 人は誰?」

(3) [「小王 (王さん) は話し手・聞き手の共通の知人]

小-王            {这/那}            个人不错。

小さい-王   DEM.P/DEM.D   CLF 人   NEG-間違い

「王さんって, いい人だよな」

#### 2. 有標的指示詞の特徴

- 先行研究において有標的・例外的とみなされてきた指示詞の用法の多くは, 「非制限的 (non-restrictive)」・「情意的 (affective)」という特徴のうちのいずれか, または両方を備える。

##### 2.1. 非制限性

- 修飾句は, 典型的には被修飾部の指示対象を制限・限定する制限的解釈を受けるが, 有標的な**非制限的解**

積を受ける場合もある。

- (4) a. 名古屋の市長 (制限的)                      b. 名古屋の河村市長 (非制限的)
- (5) a. 高い牛肉は買えないので、いつも**安い**牛肉を買っている。(制限的)  
b. 高い牛肉は買えないので、いつも**安い**鶏肉を買っている。(非制限的)
- 指示詞にも、「この私」「あの川端康成」のように非制限的解釈を受ける ([+非制限] の特徴を持つ) ものがある。
- ・ 非制限的指示詞が使用可能な文脈 (範囲) に関しては、通言語的に大きな差異が見られる。

## 2.2. 情意性

- Lakoff(1974) は、“*this/that* + 固有名詞” という形式の名詞句が使用可能なのは発話が話し手の感情・評価を感嘆的なニュアンスを込めて表す場合に限られ、中立的・客観的な記述には用いられないことを指摘している。
- (6) a. I see there’s going to be peace in the Mideast. **This Henry Kissinger** really is something!  
b. **That Henry Kissinger** sure knows his way around Hollywood!  
c. #**{That/this} Henry Kissinger** is 5’8” tall.
- (Lakoff 1974: 347, 352, 353)

- 「感嘆的な評価」を伝達するはたらきを持つ指示詞を、本稿では情意的指示詞 ([+情意] の指示詞) と呼ぶ。

## 3. 有標的指示詞の分類

- 有標的指示詞は、必ずしも「外部指示・照応・認識の 3 分類から外れるもの」ではない。
- ・ 例えば、「非制限的」でなおかつ「外部指示的」な指示詞も存在しうる。
  - ・ 原理的には、[±非制限 (性)]・[±情意 (性)]・[外部指示/照応/認識] の組み合わせで、12 通り (2 \* 2 \* 3) の分類が可能となる。

### 3.1. 外部指示用法

- 日本語では、外部指示的指示詞を非制限的修飾に用いることが可能である。また、このような指示詞の用い方をした場合、特に情意的・感嘆的なニュアンスは生じない。したがって、日本語の指示詞には [外部指示/+非制限/-情意] の用法を認めることができる。

- (7) a. [隣の人物を指して] わからないことがあったら**この**山田さんに聞いてください。  
b. [富士山を指して] **あの**富士山は、昔から「霊峰」と呼ばれてきました。

- 中国語の指示詞にも、[外部指示/+非制限/-情意] の用法が見られる。

- (8) [隣の人物を指して]  
**这**      **位**      **王-老师**      **带**      **我**      **来**      **的**。  
DEM.P   CLF.HON 王-先生   連れる   PRO.1.SG   来る   DP  
「この王先生が私を連れてきてくれました」

- また、中国語には「1・2 人称代名詞+『这』(+類別詞)+N(P)」という形式を持ち、感嘆的な言明を行う際にのみ用いられる構造が存在する。これは、[外部指示/-非制限/+情意] の用法とみなすことができる。

- (9) a. 你 这 个 人 太 较 真!  
 PRO.2.SG DEM.P CLF 人 あまりに まじめ  
 「君って、まじめすぎだよ!」
- b. ?你 这 个 人 是 学 生。  
 PRO.2.SG DEM.P CLF 人 COP 学生  
 「君って、学生だ」

○ 英語の場合、外部指示的指示詞が非制限的に用いられる場合、必然的に感嘆的なニュアンスが加わる。すなわち、英語の指示詞には、([外部指示/+非制限/-情意] ではなく) [外部指示/+非制限/+情意] の用法が存在するとみなすことができる。

(10) [in front of a computer] **This** IBM ThinkPad is amazing! (Bowdle & Ward 1995: 33)

○ 韓国語の指示詞には、[外部指示/+非制限] あるいは [外部指示/+情意] の用法は見られない ((10) 参照)。

- (11) {\*/ku/\*ce} I-sensayng-nim un hullyungha-n pun i-ney.  
 {DEM.P/DEM.M/DEM.D} 李-先生-HON TOP 優秀-な 方 COP-DP  
 「{この/その/あの} 李先生は優秀な方だよね」

### 3.2. 照応用法

○ 日本語の指示詞には、[照応/+非制限/-情意] の用法が認められる。

(12) 張仲景は三世紀初めごろ、揚子江長江の南、長沙の太守知事だったらしい。その張仲景がそれまでの伝統医学を整理してまとめた『傷寒雜病論』は、後に急性病の具体的治療を記した『傷寒論』と、慢性病を扱った『金匱要略』の二つに分かれ、漢方医学の最も重要な古典となった。

([BCCWJ], 田辺功 2000 『漢方薬は効くか』)

○ また、日本語のコ系列指示詞は、対話的な文脈で照応的に用いられた場合、発話に感嘆的なニュアンスを付加するという特徴が見られる (久野 1973, Oshima & McCready 2017; (13)・(14) 参照)。(論説文など、非対話的な文脈ではこの性質は見られない。) これは、[照応/-非制限/+情意] の用法とみなすことができる。

- (13) a. コンビニでレトルトのカレーを買ったんだけど、{この/その} カレーがすごくおいしくてびっくりしちゃった。  
 b. コンビニでレトルトのカレーを買って、うちで {??この/その} カレーをご飯にかけて食べた。

(14) 僕の友達に山田という人がいるんですが、この男はなかなかの理論家で……

(久野 1973: 188; 表記を一部改変)

○ 中国語の指示詞にも、日本語の場合と同様、[照応/+非制限/-情意] の用法が認められる ((15) 参照)。

- (15) 巴甫洛夫 [...] 震惊-了。 这 位 号称  
 パブロフ 驚く -PFT DEM.P CLF.HON と称する  
 “[...] 坦克-战 专家” 的 巴甫洛夫, 将 整个  
 戦車-戦い 専門家 NOM パブロフ ACC すべての

西方面軍 都 送-入 諾沃格魯多克 “口袋” 地区。  
 西部方面軍 すべて 送る-入る ナヴァフルダク ポケット 地域

「パヴロフは [...] 驚いた。『[...] 戦車戦専門家』と称されたこのパヴロフは、西部方面軍全軍をナヴァフルダクの (ドイツ軍の) 包囲網に送ってしまった」 ([二战])

- また、遠称の「那」は、後方照応に用いられ、感嘆的なニュアンスを表す用法を持つ。一般に、後方照応には「这」が用いられ、「那」は用いられにくい。しかし、(16) においては、「那」が後続する文 (「地球生命 [...] 蚂蚁」) と後方照応関係を持つ。ここで、照応する内容を中立・客観的なものに変えると、「那」の使用は不自然になる。よって、(16) における「那」は、[照応/-非制限/+情意] の解釈を受けるとみなすことができる。

- この場面で、「那」を近称の「这」に置き換えるとやや不自然になる。

- (16) 我 有 那 种 感觉: 地球-生命 真-的 是  
 PRO.1.SG ある DEM-D CLF 感じ 地球-生命 本当-NOM COP  
 宇宙 中 偶然 里 的 偶然, 宇宙 是 个  
 宇宙 中 偶然 中 NOM 偶然 宇宙 COP CLF  
 空荡荡-的 大-宫殿, 人类 是 这 宫殿 中  
 空っぽ-NOM 大きい-宫殿 人類 COP DEM.P 宮殿 中  
 唯一-的 一 只 小-蚂蚁.  
 唯一-NOM 一 CLF 小さい-蟻

「私は思った。地球の生き物って、本当に宇宙の中では、偶然の中の偶然だ。宇宙は空っぽの宮殿で、そして人間はその中のただ一匹の蟻だ、と」 ([三体])

- 英語では、(外部指示の場合と同様に) 照応的指示詞を非制限的に用いると、感嘆的なニュアンスが生じる。すなわち、[照応/+非制限/+情意] の用法を認めることができる。

- (17) Robert says when they get overseas there won't be any more Yankees and Southerners, just Americans. [...] He's watching out the window and reciting a poem to himself. He's a great one for poems, **this** Robert. He has poems for running and poems for drill and poems for going to sleep, and poems for when the corn-pones start getting him down. ([COCA], *Harper's Magazine*, 1992)

- (18) [...] Danny was still trying to be in two places at once. He was racing between USC and Gramercy Tavern—only blocks away—and running himself into the ground as well. Danny, the perfectionist. Danny, the stickler for detail. Danny, the quintessential host. **That** Danny was showing wear and tear for the first time. ([COCA], *Town and Country*, 1998)

- また、これとは別に、英語では「先行する談話で対話相手に導入された人物・事物を話し手がよく知らず、十分に特定できない場合」または「先行する談話で話し手が導入した人物・事物を聞き手がよく知らず、十分に特定できないと想定される場合」に、近称指示詞が非制限的に用いられることがある。これは [照応/+非制限/-情意] の用法とみなすことができる。

- なお、[照応/-非制限/-情意] の *this/these* にも類似した特徴が見られる (Oshima & McCready 2017)。

(19) George: [...], Mr. and Mrs. Hayes. [...] I'm gonna bring Dr. Shepherd to see you, [...] He's the brain specialist.  
Mrs. Hayes: Doctor? Is he good, **this** Dr. Shepherd? ([Grey])

(20) A new faculty member has just joined our department. Her name is Clair Ming. **This** Clair Ming is very smart—she got a Ph.D. degree at MIT.

○ 韓国語の指示詞には, [照応/+非制限] あるいは [照応/+情意] の用法は見られない。

### 3.3. 認識用法

○ 日本語の指示詞には, [認識/+非制限/-情意] の用法が認められる。

(21) 「そう。だから体温もせいぜい四十℃どまり [...] 運が悪いと, 熱が出すぎたときに, 病原体が死ぬだけじゃなく脳のタンパク質もやられて, あとあと障害が残ってしまう。**あの**ヘレン・ケラーも犠牲者のひとりね」 ([BCCWJ], 日本化学会 (編) 2001 『化学・意表を突かれる身近な疑問』)

○ 中国語の指示詞にも, 同様に, [認識/+非制限/-情意] の用法が認められる。

(22) [「小王 (王さん)」は話し手・聞き手の共通の知人]

那 个 小-王 来-了。

DEM.D CLF 小さい-王 来る-PFT

「あの王さんが来たよ」

○ また, 中国語では, 「N(P)<sub>1</sub>+指示詞+N(P)<sub>2</sub>」の構造が, [認識/-非制限/+情意] の解釈を受ける場合がある。

(23) [「小王 (王さん)」は話し手・聞き手の共通の知人]

a. 小-王 {这/那} 个 人 真 有-意思。

小さい-王 DEM.P/DEM.D CLF 人 実 に ある-面白み

「王さんって, 本当に面白いよね」

b. ?小王 {这/那} 个 人 生 于 1999 年。

小さい-王 DEM.P/DEM.D CLF 人 生まれる に 1999 年

「王さんって, 1999 年に生まれた」

○ 英語では, [認識/+非制限] の指示詞は必然的に情意性を伴い, 感情や主観的評価を伝達しない発話では用いることができない ((5) 参照)。すなわち, 英語の指示詞には, [認識/+非制限/-情意] 用法はなく, [認識/+非制限/+情意] 用法があるとみなすことができる。

○ 韓国語の指示詞には, [認識/+非制限] あるいは [認識/+情意] の用法は見られない。

### 3.4. まとめ

○ 日中韓英 4 言語における無標・有標的な指示詞の用法は表 2 のようにまとめられる。より多くの言語からのデータを考慮に入れることで, 類型論的に有意義な一般化が得られることが期待される。

